

実施報告書

日時：2023年9月17日（日）11:50～12:50

開催場所：神戸大学 LR501 講義室

後援：男女共同参画学協会連絡会

講演タイトル：「米国での妊娠、出産、育児や大学での支援体制について」

話題提供者：福井県立大学 生物資源学部 深尾武司教授

本大会のセミナーでは、アメリカに22年間滞在された深尾先生から、滞在中にご経験された結婚から育児にかかわるアメリカの支援体制についてお話しいただきました。



写真：深尾先生と講演中の様子

最初に、日米の保険制度の違いについてご紹介いただきました。日本では国民健康保険制度への加入の他、自身で民間の各種保険制度に加入することが一般的です。一方、アメリカではすべてが民間の保険制度でカバーする必要がありますが、例えば検診や眼鏡・コンタクトレンズ作成の費用も含まれるなど、保険以外に必要な費用はほとんどありません。こうした費用は日本では保険以外に必要なため、アメリカは医療費が高いと言われますが、実際には日本と同等に感じると話されていました。

次に、育休産休制度の違いについても触れられました。日本では、出産から1年程度の休暇を取得し、休業中には給与全額の5～7割の支給がなされることが一般的です。一方、深尾先生が滞在されたカリフォルニア州では、育休産休は4か月と短期であり、給与は支給されないなど大きな違いがあるようです。一見、アメリカの支援体制が日本より弱いように感じられますが、育休産休期間が短いと、退職者も復職しやすくなります。また、職場ごとに乳児から預けられる託児所が整備されており、勤務時間中に授乳や面会ができるなど、復職後の支援はアメリカが整っていることが特徴として紹介されました。



写真：質問される参加者の様子

ご講演後の質疑では、お話しいただいた出産育児にかかわる支援についての質問以外にも、海外で研究職・教員のポジションを得るための苦労話や、日米の学生の違いなどなかなかお聞きできない経験についてのお話を聞くことができ、活発な質疑応答の時間となりました。非常に興味深いお話を聞かせていただきました深尾先生、ご出席いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

後述のアンケート（後述）には、参加者の皆様から寄せられた貴重なご意見、感想を紹介しております。こうした学会員のご意見をもとに、男女共同参画推進委員会では、より良い育種学会の実現を目指した活動を行ってまいります。

日本育種学会第 144 回講演会 男女共同参画推進委員会企画ランチタイムセミナー

アンケート結果

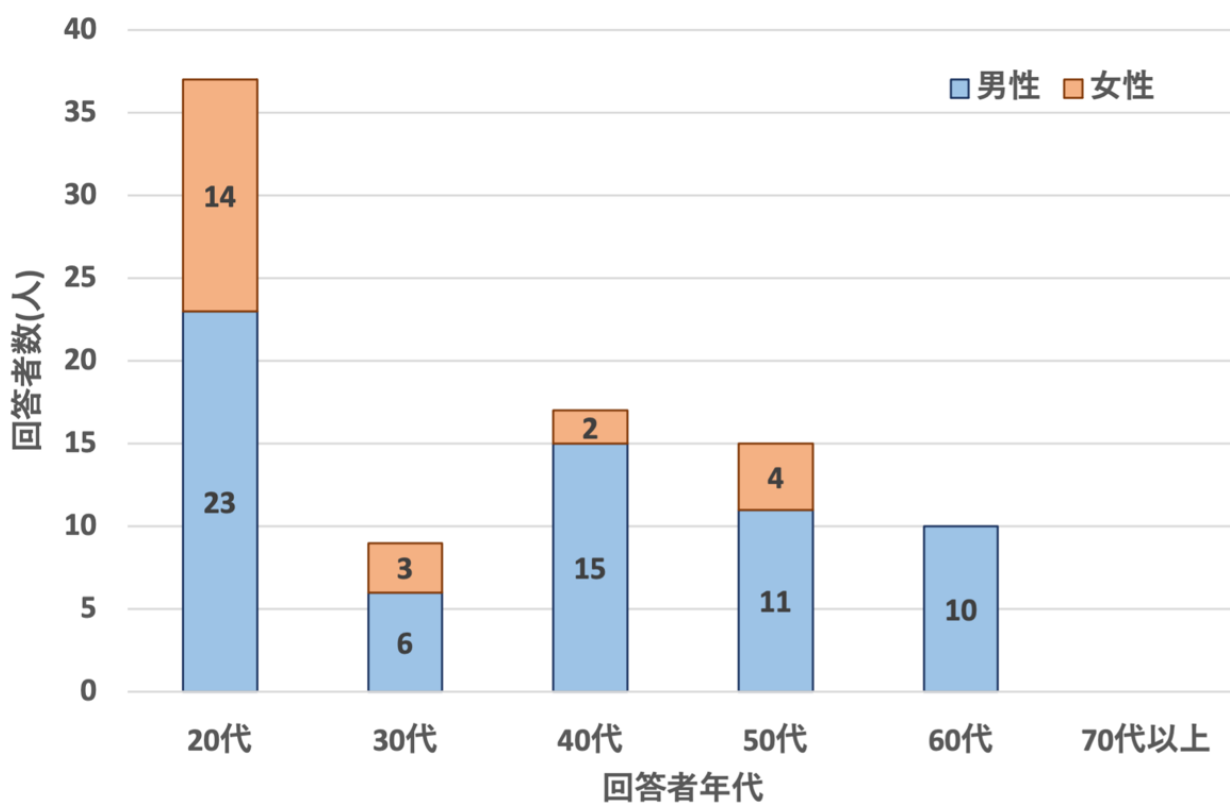
(アンケート回答者 88 名)

1. あなたの性別を教えてください。

男性・女性・その他・回答しない

2. あなたの年代を教えてください。

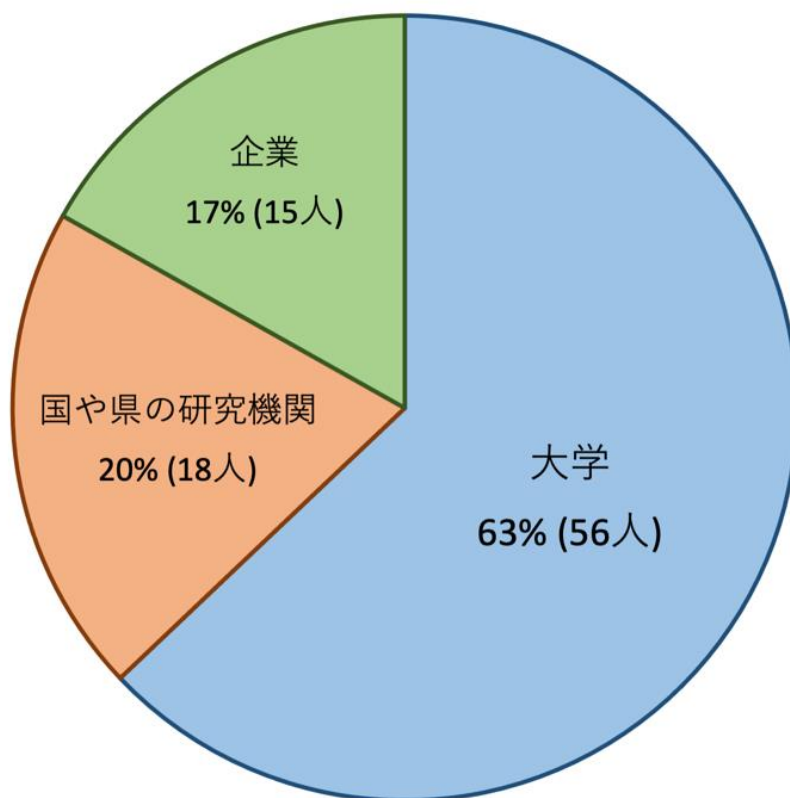
20 代・30 代・40 代・50 代・60 代・70 代以上・回答しない



アンケート回答者の年代分布および各年代における性別毎の回答者数.

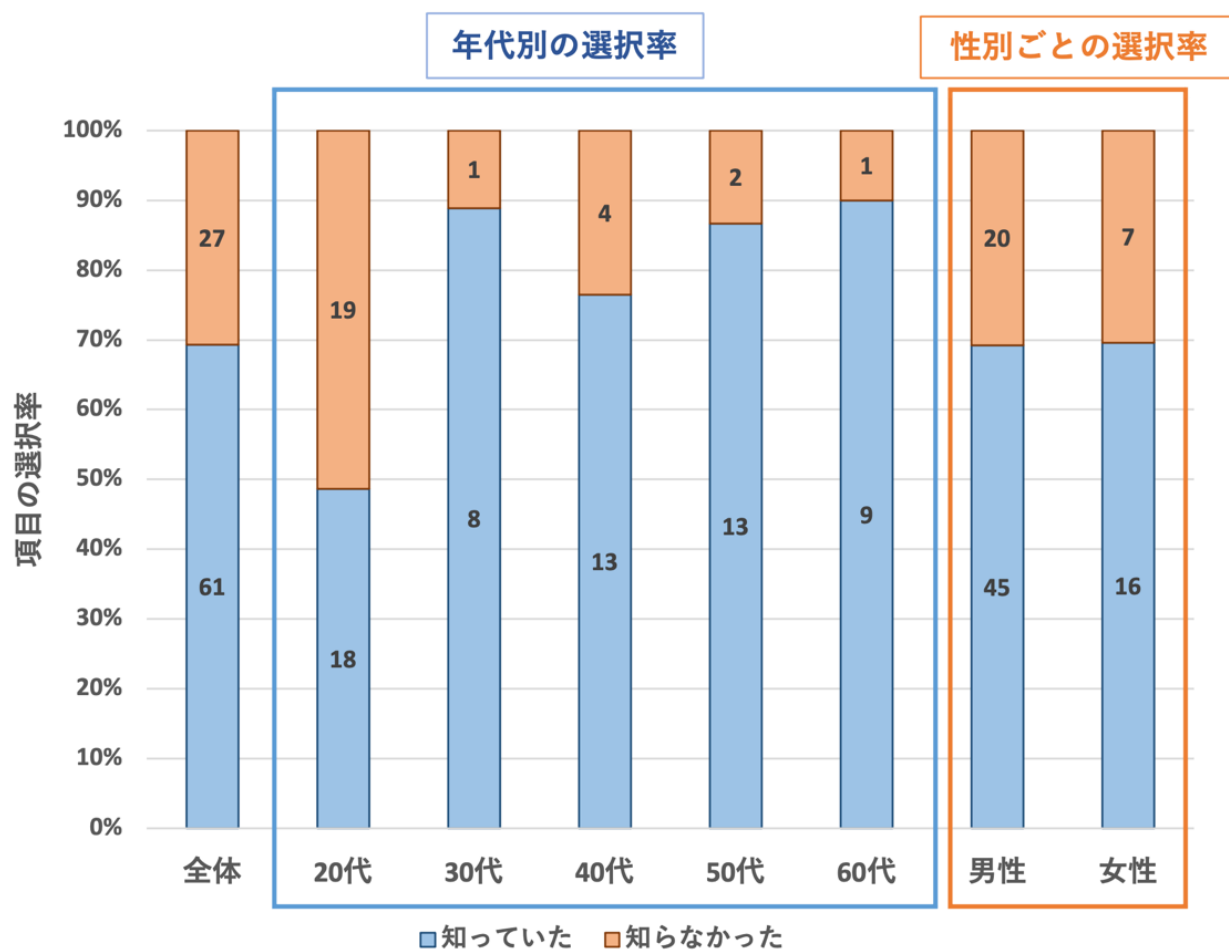
3. あなたの所属先を教えてください。

大学・国や県の研究機関・企業・その他



4. 日本育種学会には男女共同参画推進委員会があり、男女共同参画に関する活動を行っています。知っていましたか？

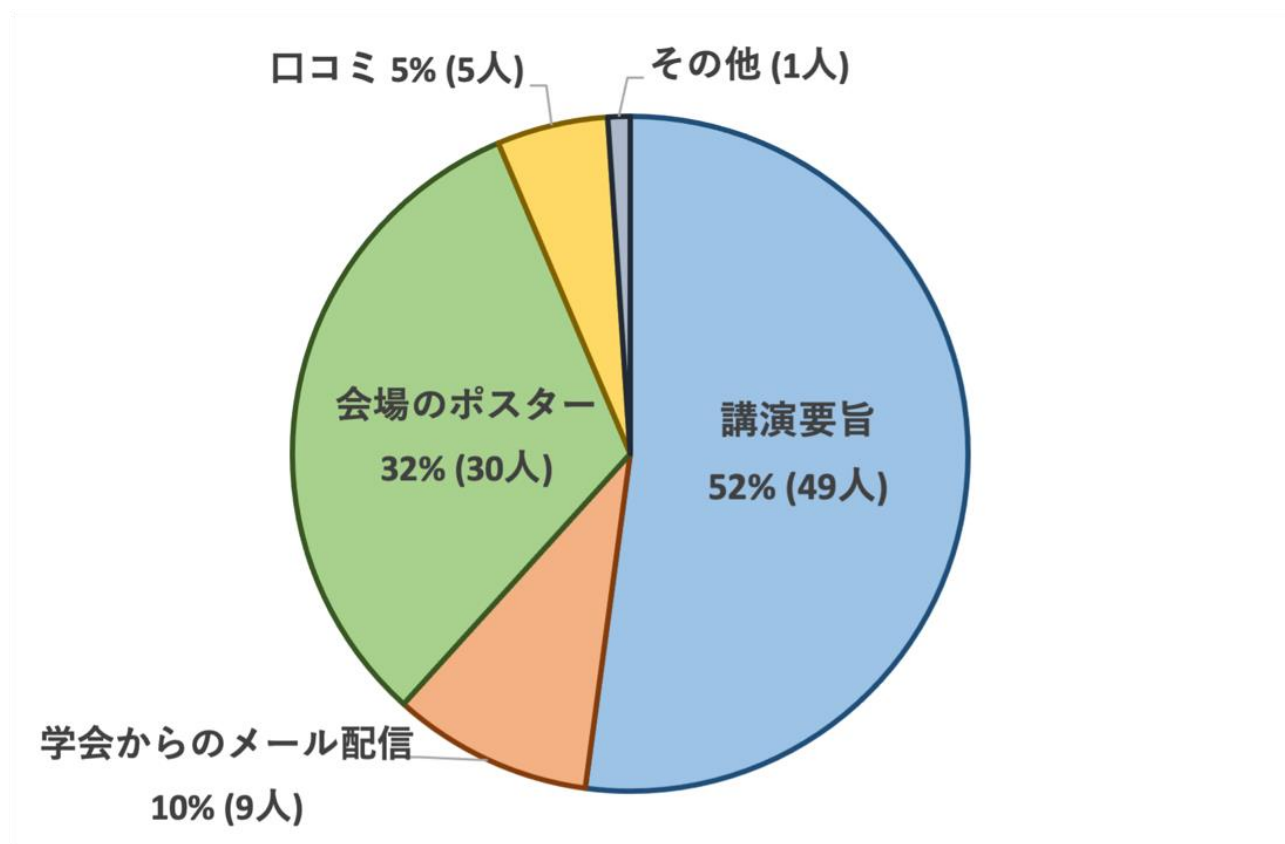
知っていた・知らなかった



アンケート回答者の項目の選択率（数字は人数）.

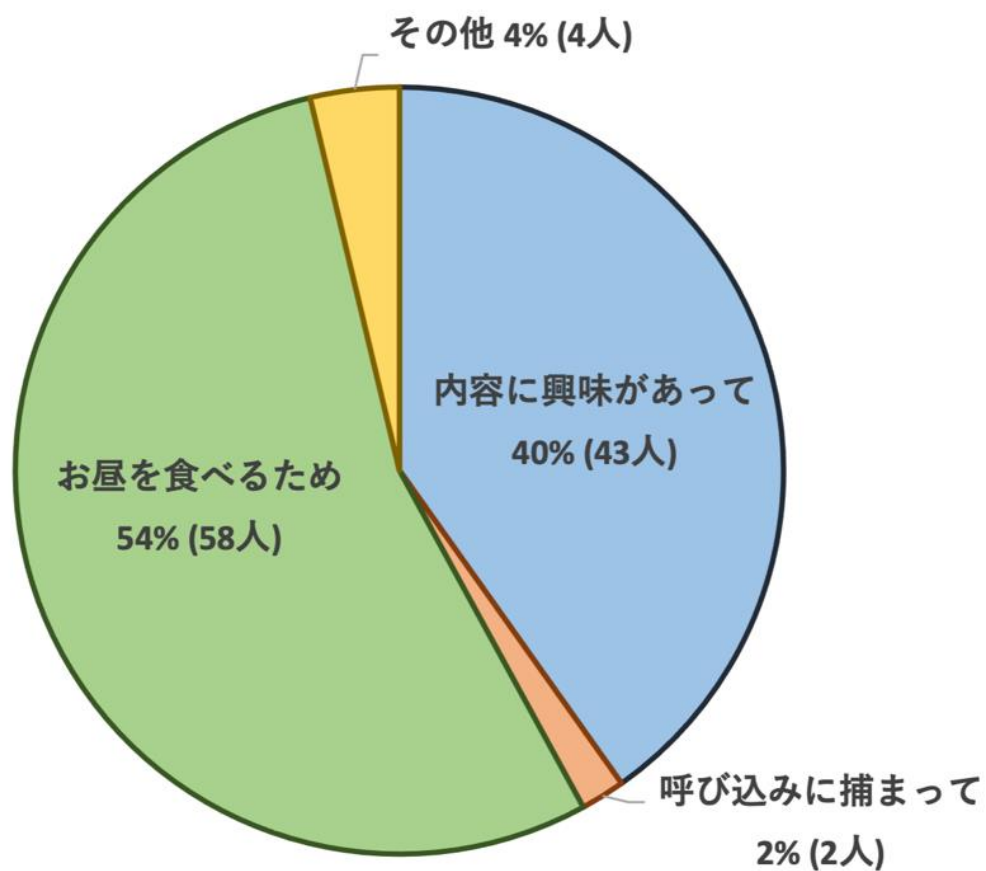
5-1. 今回のランチタイムセミナーについて何を見て知りましたか？(複数回答可)

講演要旨・学会からのメール配信・会場のポスター・ロコミ・その他



5-2. 今回のランチタイムセミナーに参加された理由を教えてください（複数回答可）

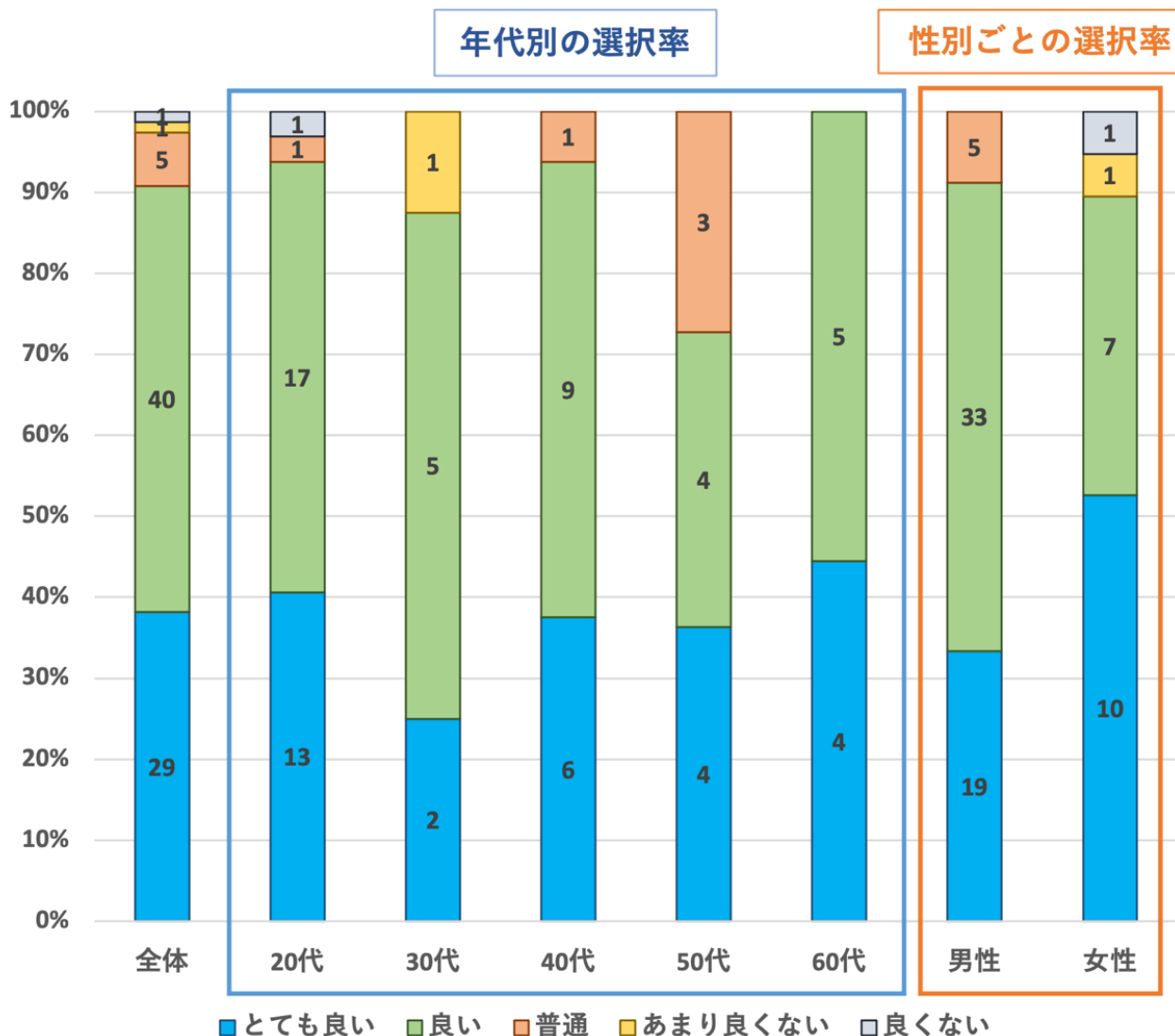
内容に興味があって・呼び込みに捕まって・お昼を食べるため・その他



6. 今回のランチタイムセミナーに関して教えてください。

6-1. セミナー内容はいかがでしたか？

とても良い・良い・普通・あまりよくなかった・良くない・わからない



アンケート回答者の項目の選択率（数字は人数）.

6-2. 今回のランチタイムセミナーのご感想をお書きください。

回答者性別・年代		
男性	40代	日本と米国の違いが理解できた
男性	60代	自分では調べない（その時間がない）内容であったので、極めて有意義であった。
男性	60代	淡々とした話が心地よかった。米国との研究室のシステムの違いが面白かった。
男性	20代	米国での制度、日本との違いを知ることができ、有意義だった。システムについては、米国ものもを導入する、というよりは日本で今ある問題点を解決するという考えが重要ではないかと個人的には思います。
女性	20代	アメリカと日本では育児制度も修士博士も大きく違った。
女性	20代	アメリカの厳しさをしれて刺激になった。
男性	20代	自分じゃ調べようと思わないような内容だったので、知れてよかった。
男性	20代	日本で米国のシステムを導入するには超えなければならないハードルがいくつかあると思った。
男性	40代	米国の様子を日本と比べながら説明していただきわかりやすくよかったです。
男性	20代	米国との育児、保険制度について違いを知れた。留学に関しても、学生等には参考になることが多かったと思う。
女性	20代	アメリカと日本の違いがわかって面白かった
男性	40代	知らない世界、目線をしてよかった
女性	20代	アメリカでの育休産休制度を初めて知りました。日本でも会社や大学で託児所ができれば女性が社会進出しやすいと思いました。
男性	20代	アメリカでの育児の仕組みや保険制度について理解が深まった
男性	50代	論点が限定されていてよかったと思います
男性	60代	アメリカの保険制度についてわかりました。保険料は？
男性	40代	先生の話、質問への回答が的確で面白かった。
男性	20代	日米間の出産育児のサポートの違いについて、文化的な背景の違いも多い気に関与しているように感じました。
男性	60代	アメリカの事情がよくわかりました
女性	50代	面白かったです
男性	20代	様々な視点を提示していただけて勉強になりました。
男性	20代	アメリカとの違いが興味深く感じた。託児所やベビーシッターの活用が進むと良いと感じた。
男性	20代	アメリカの医療費は高いイメージがあったが、眼鏡やコンタクトにまで補助が出るほどしっかりした保険が民間にあることに驚いた。
男性	20代	参考になった
女性	20代	米国のリアルな話がきけてよかった
男性	20代	お昼を食べにきましたが、貴重な話でした。興味深く聞きました。
男性	30代	アメリカの感覚がなんとなく感じ取れた
男性	60代	実際に体験された方のお話役に立ちました。出産について。留学について。米国企業がPhDを優先して採用するのは良いと思いました。
男性	40代	講師の米国での様々な経験を聞けてよかった。
女性	40代	興味深いお話をたくさん聞くことができました。出産・育児寄りのテーマかと思いましたが、会場からはそれ以外の質問が多めなのが少し残念です。
女性	20代	女性が社会復帰するシステムも含めて、育休制度の是非を考えられてよかった。
男性	20代	様々なお話を聞けてよかったです。
男性	40代	日米比較が分かりやすく、今回のtopicについて良く考える機会になりました。
女性	40代	米国の健康保険のシステムがよく分かりました。研究室の運営についてのお話も興味深かったです。
男性	20代	日本とアメリカの保険や産休制度の違いを知り、どちらが優れているか考えさせられた。
男性	40代	知らない外国の育児・出産事情を知れたのはよかった。
男性	20代	リアルな海外事情が知れてよかった。
男性	40代	米国での生活事情や博士の扱いなど、新しい情報をさくことができてよかったです。
女性	50代	聞いたことのないお話を伺えて興味深かった
女性	20代	貴重なお話が聞け、とてもよかったです。
女性	20代	米国の保険についてよく分かりました。子供が預けられないというのは充実していると思いました。
男性	50代	日本の今後を考える基礎となりました
男性	60代	全く同感
男性	20代	アメリカの働き方やドクターの在り方について知れてよかったです。
男性	50代	海外情勢を把握する上で、大変勉強になりました。
男性	40代	貴重な経験を聞かせていただきました
男性	30代	アメリカでPhDを取るのは大変
男性	30代	日本とアメリカの違いが知れて勉強になった
男性	50代	日本の違いが興味深かったです
女性	30代	保険の制度の違いについては分かりやすかったです
男性	40代	米国のPhD、システムのお話が大変参考になった
男性	20代	アメリカのことがわかった
男性	20代	海外の制度について知る機会はありませんでしたので勉強になりました。
男性	20代	アメリカと日本との違いがよく分かりました。どちらの制度が良いか判断するのは難しいですが、導入するとしたら日本の文化的なところも考えないといけないのかなと思いました。
男性	50代	米国の制度、考え方が参考になりました。
男性	40代	アンケートはいい加減webベースにしてほしい
男性	20代	職場に託児所が併設されているのはすごく良いと思いますが、人財不足がネックになってくると感じました

7. 今後、ランチタイムセミナーでの講演で聞いてみたい内容（就職、研究資金獲得、子育て、介護等）や、このような方に講演してほしいなどのご希望があれば、具体的に教えてください。

回答者性別・年代		
男性	40代	研究資金獲得
男性	60代	退職後の過ごし方
女性	50代	介護、ハラスメント
男性	20代	研究資金獲得に対し、必要なこと、分野や品目別でしれたらためになると思う。
男性	40代	海外で女性で活躍している現役に近い方の女性のキャリアアップについて
女性	20代	研究費獲得について興味があります。資金の種類、獲得しやすくなる方法など。
男性	20代	研究資金獲得
男性	50代	介護について
男性	60代	女性教員を増やす各大学、各研究機関での工夫について
男性	60代	介護等
女性	50代	府県の研究職員の男女共同参画の現状、学生さんの進路の参考になると思う
男性	30代	研究費獲得
男性	40代	介護、人材確保
女性	40代	介護について気になります。
男性	20代	就職
男性	60代	就職
女性	20代	就職
男性	40代	様々な国の事例を集めてみれば良いのでは？
男性	20代	夫婦共働きでのキャリア形成、子育てのあれこれ
男性	40代	研究資金の種類や難易度など、情報がほしいです。
男性	60代	介護等
女性	20代	研究費獲得
男性	50代	今日はアメリカの話でしたが、他の国のお話も聞きたいです。
男性	60代	今度は、ヨーロッパの状況、特に女性研究者の多い国
男性	20代	結婚、子育てとキャリアの両立
男性	50代	研究資金獲得
男性	40代	自身が子育て中なので、子育て関係の講演を聞きたいです。
男性	60代	研究資金獲得、子育て
女性	30代	研究資金獲得、実際に育休を取得している研究者の話など
女性	20代	日本のことが聞きたいです。最近の話だともっといいと思います。
男性	40代	就職、研究資金獲得
男性	40代	介護
男性	20代	配偶者の仕事とアカデミアで働く本人の大変なこと
男性	30代	女性研究者で出産・育児を経験された方のご講演（可能なら夫妻研究職）
男性	50代	女性研究者のキャリア構築について聞いてみたい
女性	30代	研究資金獲得
男性	20代	博士課程への進学を決めた理由

8. ランチタイムセミナー以外で、男女共同参画推進委員会の活動として何かご要望があれば教えてください。
また、男女共同参画推進委員として活動をご希望される方がいらしたら、是非お知らせください。

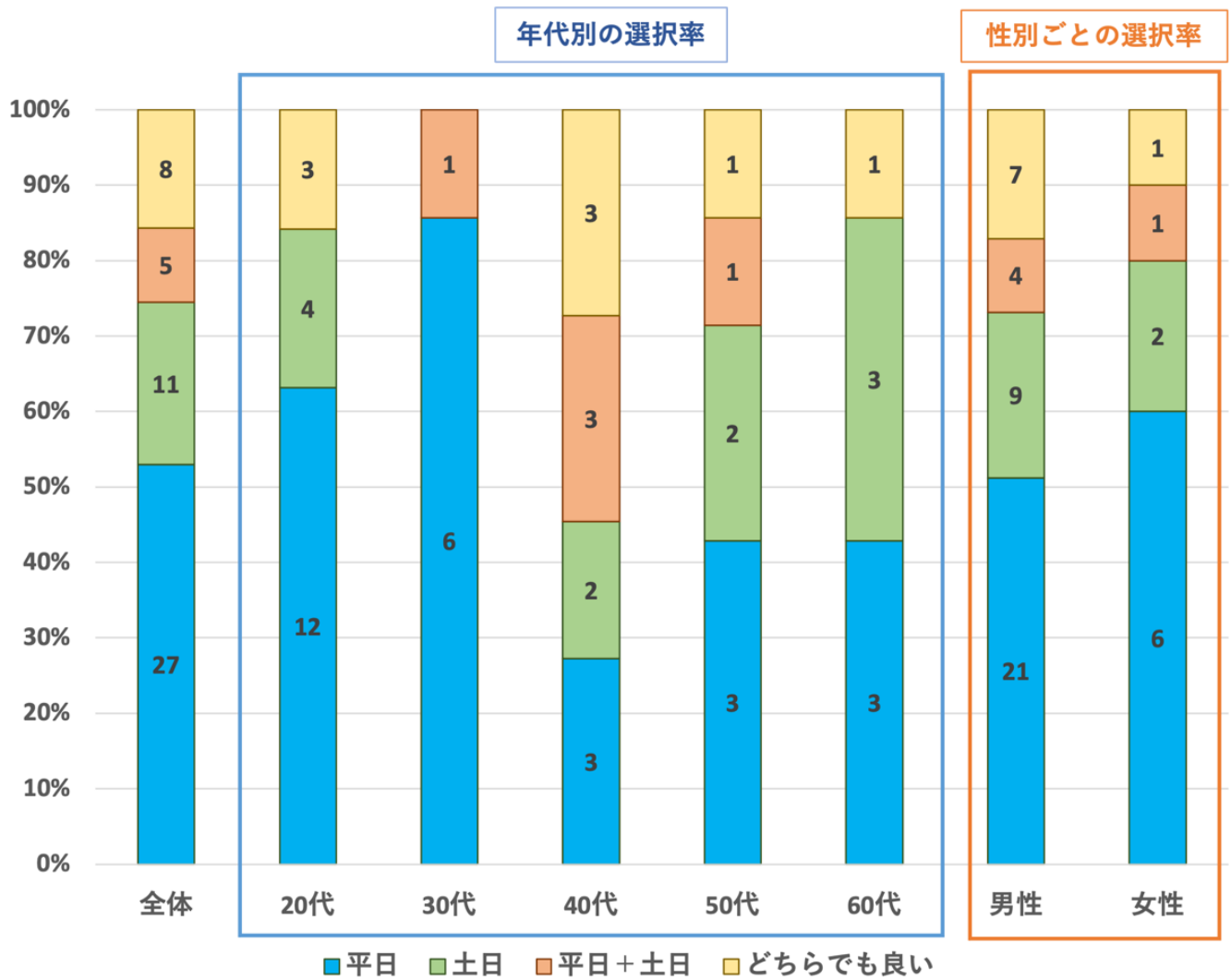
回答者性別・年代		
男性	60代	若い研究者、学生のフリーディスカッション形態の会
女性	50代	代議員のクォーター制
男性	40代	博士の活躍の場（特に民間）を広げるための取り組み
男性	40代	中高生（特に女子校？）への啓蒙活動。正直に言うとランチタイムセミナーが男女共同参画に貢献しているとはあまり思えないので、何か前進していることが実感できるアクションが欲しいところ

9. 「男女共同参画推進委員会」の名称について、何かご意見があれば教えてください（ダイバーシティ推進委員会等の名称のご提案が委員会に寄せられました）。

回答者性別・年代		
男性	60代	男女共同参画の歴史がそれなりに長く、日本の場合は女性の参画の問題が大きいので、焦点をぼかさないように「男女共同参画」のままだと良い
女性	50代	ダイバーシティ推進委員会への変更は良い案だと思います
女性	20代	みんな一緒に頑張っていこう委員会
男性	50代	そのままでもいいと思います
男性	60代	特にこれで良いと思う
男性	60代	ダイバーシティの方が良いのでは？
女性	50代	男女では分けられなくなっているので、「ダイバーシティ」は良いと思います
女性	40代	ダイバーシティ推進委員会良いと思います。
男性	50代	変えても良いように思います。
男性	40代	確かに性別だけでなく、国籍や障害などの多様性も取り上げる意味で、ダイバーシティを使った方がいいかもしれません
男性	40代	不平等ルール解消委員会
男性	50代	当面は今のままでいいと思う
男性	40代	ダイバーシティ～良いと思います

10. 日本育種学会の講演会について、平日開催と土日開催のどちらが参加しやすいでしょうか？ ご意見等ありましたら教えてください。

回答者性別・年代		
男性	40代	どちらでも良い
男性	60代	土日開催が参加しやすいと思います。
男性	60代	この件興味があります。平日開催が個人的にはいいと思います。
男性	50代	金土日 or 土日月など（平日と休日の両方が良い）
女性	50代	平日開催の方が良い。土日は子供の学校行事と重なる。預け先がないなどの問題がある。
男性	20代	平日
男性	20代	平日開催
男性	40代	どちらでも良い
男性	20代	平日開催
男性	30代	平日開催
男性	40代	土日祝等の休み、平日であっても金土や日月などだと参加しやすい
女性	20代	土日です
男性	20代	土日開催
男性	50代	どちらでも良いですが、平日の方がホテルの予約が取りやすいのではないかと思います。
男性	60代	どちらでも良いです
男性	20代	平日開催の方が宿泊費が安くて助かると思います。
男性	60代	平日、少なくともシルバーウィークは避けて欲しい
女性	50代	どちらでも良い
男性	40代	平日がいいです。体力がつづきません。
男性	30代	平日と休日を両方含む開催が良い。休日は参加しやすいが、次の週の体調に響く
男性	20代	学生としてはどちらでも構いません。
男性	20代	平日が良い
女性	20代	平日
男性	30代	平日開催
男性	60代	土日
男性	40代	平日がありがたいです。もしくは連休を外していただけるとありがたいです。
女性	40代	金、土の方が参加しやすいです。（会社の制度的に）
男性	20代	土日開催
女性	20代	平日開催
女性	20代	平日 ホテルがとりづらいので三連休避けて欲しい
男性	20代	平日開催
男性	40代	秋の3連休時期は宿泊費等かかるので、その前後で金・土開催を望みます
男性	60代	土日開催
女性	20代	土日開催
男性	50代	土日開催
男性	60代	一長一短だが、3月中旬と9月中旬なら平日、9月下旬～なら土日
男性	20代	平日
男性	50代	職場の制度上は、平日の方が参加しやすいです
男性	40代	土日が良いです （平日は講義や会議が重なる可能性がある）
男性	30代	平日もあり
男性	30代	平日
男性	60代	平日開催
女性	30代	授業期間外であれば平日でも参加できます
女性	20代	平日が良いです。
男性	40代	夏季休暇中の平日
男性	40代	土日
男性	30代	子供が保育園に通っているため、園が休みの土日祝はワンオペが終日となる。そのため、学会は平日開催を希望する。
男性	20代	平日
男性	20代	特にどちらでも良いと思います。
男性	50代	土日が参加しやすい
男性	40代	どちらでも問題ありません
男性	20代	どちらでも良い



アンケート回答者の項目の選択率（数字は人数）.